

2024年9月25日



## 東濃コアー株式会社に「岐阜県営林J-クレジット」を活用した 「排出権付リース」を成約いただきました

当社は、脱炭素経営に取り組まれる事業者さまの課題解決をお手伝いするために「カーボンニュートラルプログラム」を取り扱っています。

このたび東濃コアー株式会社（以下、「東濃コアー」といいます）に、岐阜県が初めて販売開始した「岐阜県営林J-クレジット」を活用した「排出権付リース」を成約いただきましたのでお知らせします。

### 記

環境問題が常に取り沙汰されるなか、東濃コアーが取扱う紙・ダンボール素材は、産業廃棄物を生み出さないことを最大の特徴とし、廃棄の容易性に優れた紙・ダンボール製品は環境問題に大きく貢献しています。

東濃コアーは環境サステナビリティの実現や社会貢献の観点から、脱炭素社会に向けた取組みとしてS B T認証の取得等カーボンニュートラルに積極的に取り組んでいます。



省エネ設備の導入や再生可能エネルギーへの転換を計画的に進められるなか、一般の設備更新において、当社がカーボンクレジットの活用を提案し、「排出権付リース」を利用頂く運びとなったものであります。

9月25日に岐阜県林政部立ち会いのもと、当社より東濃コアーに「移転完了証」をお渡しする贈呈式を開催しました。

### 【J-クレジットの内容】

銘柄	岐阜県営林（高山市久々野町内）J-クレジット
数量	25 t

### 【契約先】

社名	東濃コアー株式会社
URL	<a href="https://www.tonocore.co.jp">https://www.tonocore.co.jp</a>
本社・本店	岐阜県恵那市武並町竹折1695-1
代表取締役社長	河野 裕仁
設立	1977年7月13日
事業内容	ダンボール製品の製造・加工
国内グループ会社	東濃ダンボール株式会社、東濃エース株式会社

## 【ご参考】

「カーボンニュートラルプログラム（以下、CNP）」は、事業活動によって排出される温室効果ガスの量を「知る」「減らす」「オフセットする」の一連の流れをワンストップでお応えする仕組みであり、省エネ、脱炭素、低炭素といった企業の社会的な課題解決に向けた取り組みを行っています。

CO<sub>2</sub>の削減プロセスは、まずは①CO<sub>2</sub>排出量の可視化、次に②省エネ・創エネ・燃料転化によるCO<sub>2</sub>排出量の削減、最終的に③削減しきれないCO<sub>2</sub>をオフセット（埋め合わせ）する3つのステップで構成されています。

当社のCNPは、それぞれのステップに応じた解決策をお客さまのニーズに合わせてワンストップでソリューション提案できる仕組みであり、地銀系のリース会社では他に例を見ない取り組みであります。

以 上